

委員からの事前意見・質問への回答

第36回茨木市こども育成支援会議 当日資料3

資料番号	ページ数	ご意見・ご質問	担当課	回答
第35回 当日資料 1	43	事業No. 1402 子ども・若者自立支援センター事業 若者とは39歳までを指すと思われませんが、先日の新聞記事にあったように40代が引きこもり最多ということであれば、対象外となった方たちにどのような支援をされるのでしょうか。子ども育成支援という部分からは離れるかもしれませんが、茨木市全体の課題としてお教えください。	相談支援課 こども政策課	現在の相談状況から、本市におきましても中高年の引きこもり者が一定数存在するとみており、子ども・若者世代以上であっても必要な相談・支援が求められると考えております。 そこで、本市では、こども育成部と健康福祉部が連携し、相談者のニーズや生活課題に応じた適切な機関や相談窓口につなぐなど、丁寧な対応に努めております。
第35回 当日資料 1	67	事業No. 2401 帰国・渡日の児童・生徒への支援 児童・生徒への支援だけでなく、対象保護者への支援も必要と思われませんが、どのように取り組まれていますか。(保護者も日本語の理解が困難な場合の学校からの連絡や懇談など)	学校教育推進課	外国人の保護者につきましても児童生徒同様、授業参観や懇談、家庭訪問など必要に応じて通訳を派遣しております。
第35回 当日資料 1	75	事業No. 4201 包括的支援体制の推進 地区保健福祉センターを新設されることと理解しましたが、人的資源が限られている中でエリアをまとめるセンターを作ると、かえって専門的知識・キャリアのある方が分散してしまうのではないのでしょうか。	相談支援課	現在、CSW、地域包括支援センター、障害者相談支援センターは別々の場所で、それぞれの専門分野の業務を行っています。より連携を強化し、各専門職が有するスキルや知識の共有により、幅広い世代様々な対象者への相談対応ができるように、各専門機関をつなぎ支持する地区保健福祉センターを設置するものです。
第35回 当日資料 2	37	1「いばらき版ネウボラ」の推進について「ネウボラ」という言葉が市民にまだ浸透していない段階だと思うので、注釈をつけて、ネウボラが何語でどういう意味を表わすのかを記述した方が良いと思います。もしくは、最後の■資料「用語説明」に詳しく「ネウボラとは」を記述するのはどうでしょうか。	子育て支援課	ご指摘を踏まえ、用語説明に記載します。

第35回 当日資料 2	37	<p>前回会議でいばらき版ネウボラの推進についての議論の中で福永会長が、母子の情報が共有できる個人ファイルの作成を一つの案として提案されておりましたが、とても素晴らしい案だと思います。地域の相談拠点・専門機関が共有できる情報データがありそれをもとに必要な支援がなされれば、それが信頼につながり、切れ目がないと市民が感じるのではと思います。</p>	子育て支援課	<p>現在は、妊婦等の承諾を得て、情報共有しておりますが、市民会館跡地構想では、母子保健と子育て支援の一体化を目指しており、ご指摘の内容についても検討してまいります。</p>
事前送付 資料	88	<p>事業No1315 生徒指導事象（いじめ・不登校問題行動等）への対応 平成30年の小中不登校児童生徒数は261人と増加傾向と思われるが、不登校児減少のための具体的な取り組みがあれば教えてください。 また、<u>こちらの事業は第4期の実施事業のどこに統合されていますでしょうか。</u></p>	学校教育推進課	<p>小中学校におきましては、登校支援や別室登校など登校しやすい環境づくりに努めております。また、必要に応じてスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーが児童生徒本人や保護者の相談を受け支援しております。</p> <p>下線のご質問につきましては、削除しておりましたので復活しました。</p>
第35回 当日資料 1	84	<p>事業No5007 こども食堂運営補助事業 茨木市には既存のこども食堂が何箇所かあったと思うのですが、今回新規に運営補助をするという認識でよいでしょうか。また、利用者は生活保護世帯の子どものみ対象でしょうか。具体的な取り組み案があれば教えてください。</p>	こども政策課	<p>現在こども食堂は8団体が17か所で実施されており、市としては平成29年度から運営補助を実施しているところです。第3期計画策定当初には想定されていなかった事業であったことから、今回新規に掲載するものです。</p>
第35回 当日資料 1	65	<p>事業No.2301 児童虐待について 昨今神戸市の公立小学校で起きた教師同士のいじめの報道がありました。教師のいじめは、児童に影響を及ぼすことも懸念されますが、茨木市では、このようなことがないか調査等行われているのでしょうか？</p>	学校教育推進課	<p>教員のいじめ調査は行っておりませんが、各校におきまして、各種ハラスメント相談窓口を設定し、相談受け入れ態勢を整えるとともに、校長、教頭をはじめ教職員には研修等を通じて人権意識の向上を図っております。</p>
第35回 当日資料 1	23	<p>事業No.1231(1240)病児・病後児保育 既存のロケーションありきの内容になっているが、そもそも受け入れ先が少ない、アクセスが悪いのが問題では。 各ブロックに1拠点ないと連れていけないと思います。</p>	保育幼稚園事業課	<p>現在の病児保育事業の課題は、アクセス面だけではなく、利用時の利便性の問題や受け入れ態勢、開所時間の問題もあると考えておりますので、保護者の利便性が向上するように事業者と協議してまいります。</p> <p>また、各ブロック1カ所の病児保育事業の整備のご提案につきましては、今後の施策展開の参考とさせていただきます。</p>

第35回 当日資料2	2	事業1104(1108)訪問指導 「訪問指導」という名称は、一般の目からみると不自然にうつる。「育児サポート訪問」などの方が受け入れやすい。	保健医療課	「訪問指導」は母子保健法の見出しに使用されており、育児支援のみならず妊産婦等への健康状態に応じた保健指導も行いますので、変更の考えはございません。
第35回 当日資料 1	4、19	1108(1112)産前・産後ホームヘルパー・1224(1232、1255)乳児家庭全戸訪問及び4～12か月児親子交流は連携されていますか？第一子出生時、多胎児出産時の最初の1か月が一番ニーズがあると思うので、そこに重点化してはどうでしょうか。	子育て支援課	子育て世代包括支援センターの妊婦面談では、すべての妊産婦に安心して出産・子育てを行っていただけるよう、妊娠期～出産・子育て期の事業について紹介をしております。 また、面談を実施する中で出産や育児に不安を抱えておられる場合には、妊産婦の様子や家族等の支援状況等を踏まえ、必要となるサービスの利用勧奨に努めています。
第35回 当日資料 1	12	1211(1213)「個」を大切に作る保育など ・幼稚園、保育園に市から求めるものが多いが、そのための各園の人員確保、費用、時間確保の支援はどこに記載されていますか。 ・各園の現状の改善の項目はどこでしょうか。 (例)保育士の確保、離職防止策、待遇改善など。	保育幼稚園総務課	「個を大切に作る保育」は保育士や幼稚園教諭に求められる資質であり、そのための研修に関する記載であります。研修費用は施設が受け取る給付費に含まれております。 また、保育士の確保や待遇改善等については、各園での実態や課題に合わせて、各園と市が連携して対応していることから、計画に記載はしていません。
第35回 当日資料 1	51	2104(2103) 「すべてのひとり親家庭が入所できていない」のは大変な問題だと思いますが、具体的な数値はありますか。	保育幼稚園事業課	29人となります。
第35回 当日資料 2	13	②その他一時預かり(保育所等) 平成29年度、実施か所数が2か所増えてはいるが、受け入れ可能数が大幅増なのは、なぜか？	保育幼稚園事業課	前回の計画の策定時には、平成25年度の利用実績に基づき受入可能人数を算出しておりましたが、平成29年度に行いました中間見直し時に、届出定員に開設日数を乗じた施設の年間受け入れ可能最大数に変更しております。

第35回 当日資料 2	28	(11)子どもの視点を取り入れた社会づくり 子ども自身が自らの権利を学ぶ必要性に同感する。授業の中で学ぶ機会を作れないか？	学校教育推進課	「子どもの権利に関する条約」を含め、自らの権利につきましては中学校の公民の時間に学習することとなっております。
第35回 当日資料 2	29	(13) 青少年の健全育成 デートDVの啓発冊子を配布しているのなら、セットで講座も全校で実施できないだろうか？配布しただけで終わっては、周知も難しいと考える。特に”加害”に対しては、正しい情報を伝えてほしい。	学校教育推進課	学校におきましては、道徳教育や人権教育の中で男女のかかわり方を含め、人のかかわり方の学習をします。講座の実施につきましては、内容の周知に努めたいと、状況に応じて学校が実施の判断をすることとしております。
			人権男女共生課	デートDV啓発冊子は、授業に活用できる教材用冊子と生徒が携帯できる冊子を中学2年生に配布しております。冊子の配布と併せて、学校へ出向いて実施するデートDVのワークショップの案内も行っており、平成30年度は2校で実施しております。学校へ出向いて行うワークショップは生徒自身に考えてもらう内容となっており、大変有効であると考えておりますので、より多くの学校で実施していただけるよう、学校に対してはたらきかけてまいります。 なお、ワークショップの中で加害者にならないためにできることも考えてもらう内容となっております。
第35回 当日資料 2	56～ 104	評価指標（目標値）のみだが、現在値は必要ないか？5年間でどの程度の増加を計画しているのかがわかりにくい。	こども政策課	直近の平成30年度の実数を入れる方向で調整いたします。
第35回 当日資料 1	29-30	防煙教育やデートDVに関する記載はありますが、道徳教育に関してはどのようにお考えでしょうか。いじめ防止やいのちを教える授業についてなど。	学校教育推進課	道徳教育につきましては学習指導要領にのっとりまして、授業を進めております。いじめ防止やいのちについても道徳の指導項目に入っておりますことから授業で取り上げております。

<p>第35回 当日資料 1</p>	<p>30</p>	<p>事業番号1306 学力向上について、具体的な施策を教えてくださいませんか。学校における子どもの学力向上への具体的な取り組みが知りたいです。</p>	<p>学校教育推進課</p>	<p>茨木市の学力向上の取組みにつきましては、全国学力・学習状況調査結果分析をもとに、学習サポーターや図書館支援員などを配置して子どもたちの学習環境を支えたり、NETの配置などを進め、英語教育の充実に努めるなどしております。</p>
<p>第35回 当日資料 2</p>	<p>73</p>	<p>事業No. 1329 放課後子ども教室の推進 現在山手台では週に1回、水曜日のみ行われていると聞いています。他地区では週1～2回と聞いておりますが、なぜなのでしょう。保護者の方から質問は来ていませんかでしょうか。</p>	<p>社会教育振興課</p>	<p>放課後子ども教室事業は、各小学校区の実行委員会に委託しており、地域の実情に応じて開催していただいております。 山手台小学校においては、ご質問のとおり現在のところ週1回開設していただいております。保護者の方から運営について当課に問い合わせ等いただいた経緯はございません。</p>